

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・総論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	伊黒 浩二	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
基礎柔道整復学は柔道整復師の施術に必要な基礎的知識を習得する学問である。本授業では、その基本となる関節・軟部組織損傷の総論と下肢骨折(骨盤部)について学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 100% 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(改定第6版)、柔道整復学実技編(改定第2版) 適宜資料の配布を行う						
《授業外における学習方法》						
授業前後に予習と復習を行うこと						
《履修に当たっての留意点》						
授業を受けるルール 教科書を読んでくる!、とにかくメモをとる!、休まない!、寝ない!、喋らない!						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本的な関節の構造を理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	導入、関節の構造			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	捻挫(関節損傷)について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	捻挫(関節損傷)について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	捻挫(関節損傷)による損傷組織と修復機序を理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	捻挫(関節損傷)で損傷する組織①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	捻挫(関節損傷)による損傷組織と修復機序を理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	捻挫(関節損傷)で損傷する組織②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱臼について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習	
		各コマにおける授業予定	脱臼について①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱臼について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	脱臼について②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱臼について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	脱臼について③		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	筋の基本構造を理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	筋の損傷①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋損傷について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	筋の損傷②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の修復と対応について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	筋の損傷③		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経の基本構造を理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経損傷①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷を理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経損傷②		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経損傷の修復と対応について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経損傷③		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨単独骨折について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	骨盤骨骨折①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤輪骨折について理解する。	教科書	授業ごとの予習・復習
		各コマにおける授業予定	骨盤骨骨折②		